

管 区 事 務 所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

日本維新の会共同代表 橋下 徹大阪市長 殿

日本維新の会 殿

大阪維新の会 殿

日本維新の会共同代表橋下徹大阪市長の発言に強く抗議し、謝罪と発言の撤回、また ^{まつりごと}政 を担
う立場からの辞任を求めます

2013年5月13日、日本維新の会共同代表である橋下徹大阪市長は記者団に対し、戦時中の旧日本軍の慰安婦について「銃弾が雨嵐のごとく飛び交う中で、命をかけて走って行く時に、精神的にも高ぶっている猛者集団をどこかで休息させてあげようと思ったら、慰安婦制度が必要なのは誰だってわかる」と発言しました。また、5月初めに沖縄県の米軍普天間飛行場を訪問した際に、海兵隊員の性的なエネルギーをコントロールするために「風俗業を活用してほしい」と米軍司令官に話したことも明らかになりました。

わたしたちは、一人ひとりが神様から与えられたかけがえのない命を大切にし、だれもその尊厳を踏みにじることはできない、というキリスト教の立場から、この橋下市長の発言に強く抗議いたします。「誰だってわかる」という「誰だって」とは一体誰を想定して語られたのでしょうか。女性の人権を蹂躪するこの常軌を逸した妄言ともいうべき発言をわたしたちは決して看過することができません。

その後、内外からの批判を受けて橋下市長は、「表現不足だった」「誤解で傷ついた人がいたら申し訳ない」と言いつつも発言の撤回を拒否しています。さらに、いわゆる「従軍慰安婦」問題についてはこの発言の後も自らのツイッターで「日本軍と世界各国の軍との違いとして今言われているのは、暴行・脅迫・拉致を用いて強制的にそのような仕事に就かせたかどうか。しかし、ここは今のところはっきりしていない」と書き、これまでの「旧日本軍の強制連行とする直接証拠はない」との主張をし続けています。

「従軍慰安婦」への歴史認識をめぐって日本が世界から非難を受けているにもかかわらず、女性の人権を一顧だにせず、女性を戦争の道具として蹂躪することを当然のこととするような橋下市長の言動は、さらに日本への非難を加速させるに違いありません。また、このような発言は、今なお、PTSD（心的外傷後ストレス症候群）に苦しむ元「従軍慰安婦」の方々、また性暴力被害に苦しむ人々への二次加害の言葉になるものであり、決して許すことはできません。

5月19日広島市での証言集会で元「従軍慰安婦」吉元玉さんは、中国東北部の慰安所で11歳の時、暴力と性病、孤独に苦しめられた。「悔しくて、胸が痛くて。いつも心は寂しい」と今も残る心の傷を語っておられます。こうした方々の声を橋下市長は、どう聴くのでしょうか。わたしたちは、日本軍によって強制・管理された「慰安婦」が存在したこと、戦中も戦後も「慰安婦を利用すればよい」と言う人がいたこと、そして「慰安婦」とされた方々が様々な暴力に晒され今もなおその苦しみが続いていることを知っています。この事実は、決して消し去ることはできません。

橋下市長のまるで性欲はコントロールできないものであるかのような言説は、性暴力を正当化する手段に過ぎません。この発言は女性のみならず男性の人権をも踏みにじるものです。また、性産業で働いている人は欲求のはけ口になるのを自ら認めているというような身勝手な神話が、どれほど多くの人々の尊厳を傷つけているのかということへのあまりの想像力の欠如にわたしたちは強い怒りを覚えます。橋下氏は、米軍司令官への話の背景には「沖縄における海兵隊員の性犯罪問題がある」とし、自らの発言の責任転嫁を図る発言をしています。沖縄における海兵隊員の性犯罪を本当に問題視し、女性の人権を守りたいというのなら決してこれまでの一連の発言ができるはずがなく、橋下市長の沖縄に思いを馳せているかのような発言は、わたしたちには詭弁としか受け取れません。橋下市長のこぼの背後には、米軍基地容認、沖縄差別をやむなしとする思いがあります。

今なお癒えることのない戦争の傷と、おしつけられた軍隊の日常の暴力の中にある沖縄の人々の思いと共に、わたしたちは、以下のように橋下氏に要求します。

- ・今なお苦しむ「慰安婦」被害者を傷つけ、癒しがたい傷を負わせたことに対し謝罪すること
- ・女性の人権を蹂躪した発言をしたことを認め、発言を撤回すること
- ・自らの発言の正当化に「沖縄の苦しみ」を利用したことを謝罪すること
- ・一連の報道を「大誤報」と言い、自らの責任をマスコミに転嫁している態度を改めること
- ・一連の発言によって多くの人を傷つけただけでなく、国内外に多くの混乱を引き起こした責任をとって一刻も早く「政^{まつりごと}」を担う立場を辞任すること

また、橋下市長の発言に対する国内外からの強い批判があるにもかかわらず、その発言の意図を支持し、橋下市長を擁護するコメントを繰り返している日本維新の会は、橋下市長を擁護することによって組織ぐるみで女性の尊厳を傷つけ、今なお被害の後遺症に苦しむ人たちを貶めています。韓国人女性に対しての差別発言を行った西村慎吾議員を除名処分にするのなら、橋下市長をも処分すべきです。わたしたちは日本維新の会に対し以下のように要求します。

- ・橋下共同代表を擁護する態度を改めて、一連の発言・擁護によって傷ついた人々に謝罪をすること
- ・一刻も早く橋下共同代表を解任し、政治家としての責任ある態度をとるよう進言すること

2013年5月22日

宗教法人日本聖公会

正義と平和委員会委員長 主教 渋澤一郎

女性の課題に関する担当者 木川田道子

吉谷かおる